



# DATA in 九州

九州の身近なデータを  
ワンポイント解説する  
コーナーです。

## 今月の注目データ

今月は「再生水の供給水量」と「地域おこし協力隊の隊員数」です。



再生水の供給水量

検索



地域おこし協力隊の隊員数

検索



地域おこし協力隊の隊員数

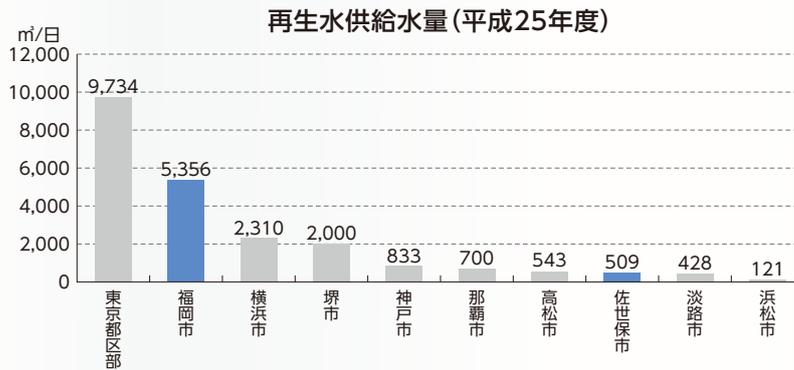
## 再生水の供給水量

再生水(※)の1日あたり供給水量を都市別に見ると、福岡市が東京都区部に次いで全国2位となっています。

福岡市は他の大都市と異なり市内に一級河川が流れていないなど、水資源に恵まれない地形となっており、しばしば水不足に悩まされてきました。特に、昭和53年には異常少雨による大渇水が発生し、287日に及ぶ長期間の給水制限が実施され、市民生活や社会活動に多大な被害を与えました。福岡市ではこの渇水を契機に、市民・事業者・行政が一体となって「節水型都市づくり」に着手し、その一環として、昭和55年に日本で初めて再生水の供給が開始されました。今では市内の400ヶ所以上の施設に再生水が供給されています。

世界では人口増加による水不足が深刻化しています。30年以上前から水不足問題の解決に取り組んできた福岡市の技術・ノウハウは、世界的な課題の解決に大きく貢献する可能性を有しています。

※再生水…下水処理水の一部をさらに高度処理し、新しい水資源としてトイレや散水などの雑用水として有効利用するもの



(出所:福岡市道路下水道局資料を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

## 地域おこし協力隊の隊員数

全国で地域活性化のために様々な活動を行っている「地域おこし協力隊」の隊員数(平成27年度時点)を自治体別に見ると、竹田市(大分県)が29人で全国1位となっています。

地域おこし協力隊の隊員は、都市部から地方に一定期間(1年~3年)移住し、移住先の自治体から委嘱を受けて、「よそ者」の目で地域の魅力の発掘・発信に取り組むほか、地元住民と一緒に地域製品の開発を行うなど、様々な活動を行っています。その中でも竹田市では、隊員の有する経験やスキルを最大限活かしてより実のある活動を行ってもらえるよう、竹工芸等の伝統産業の復興や外国語での観光案内・海外向け情報発信等、業務内容を絞った形での受け入れを積極的に行っており、今年度も10人超の隊員が新たに着任予定です。

隊員の中には、活動を通して赴任地への愛着が生まれ、活動期間終了後も赴任地に住み続ける方も多く、地域おこし協力隊は地方の定住人口の増加にも寄与しています。

### 地域おこし協力隊の隊員数(平成27年度)(※)

順位	自治体名	隊員数
第1位	竹田市(大分県)	29名
第1位	美郷町(島根県)	29名
第3位	津和野町(島根県)	27名
第4位	佐渡市(新潟県)	22名
第4位	長野市(長野県)	22名
第4位	邑南町(島根県)	22名
第7位	海士町(島根県)	20名
第23位	対馬市(長崎県)	11名
第23位	えびの市(宮崎県)	11名
第29位	五島市(長崎県)	10名
第29位	小値賀町(長崎県)	10名

(※) 全国673の自治体で2,625名が活動中

(出所:総務省「地域おこし協力隊の活躍先(受入れ自治体一覧)(平成27年度)」を基にふくおかフィナンシャルグループ作成)

## 福岡県の最近の経済動向

### 福岡県の景気 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響により一部に弱さがみられる

福岡県の景気は、底堅く推移していますが、4月に発生した熊本地震の影響により一部に弱さがみられます。四輪自動車等が増産となった輸送機械が上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、住宅建設についても3カ月連続で前年を上回りました。一方で、個人消費は熊本地震による消費マインドの低下が影響し、飲食料品を除いた全ての品目において前年を下回ったほか、公共工事についても10カ月連続で前年を下回りました。  
(諸隈 あきこ)

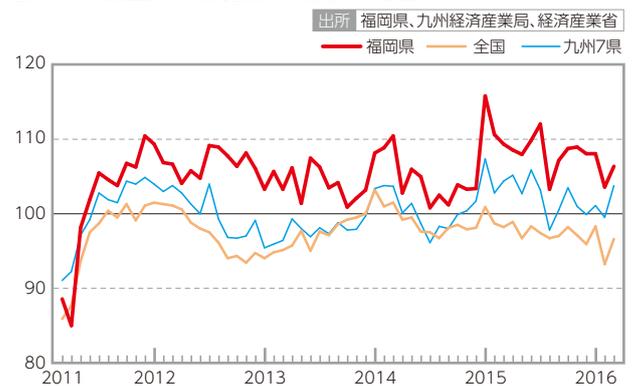
### 1. 生産活動 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響が懸念される

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は106.4と前月比2.7%上昇しました。

主要業種では、四輪自動車等が増産となった輸送機械や、飲料用缶等の生産が増加した金属製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

ただし、4月以降は熊本地震の発生によるサプライチェーン障害などの供給面での制約を受け、生産が弱含んでいる懸念があります。

■福岡県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

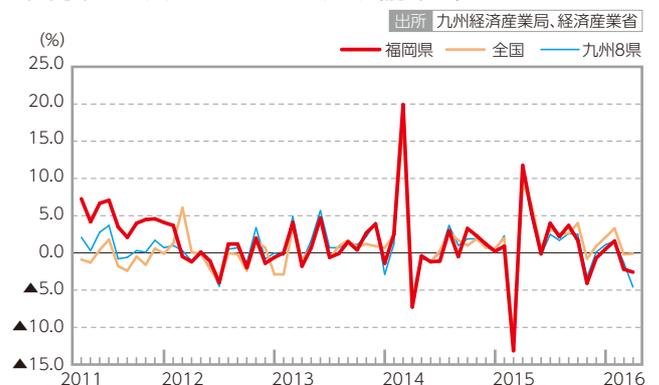


### 2. 個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.6%減の514億円となりました。

熊本地震による消費マインドの低下が影響し、飲食料品を除いた全ての品目において前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■福岡県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





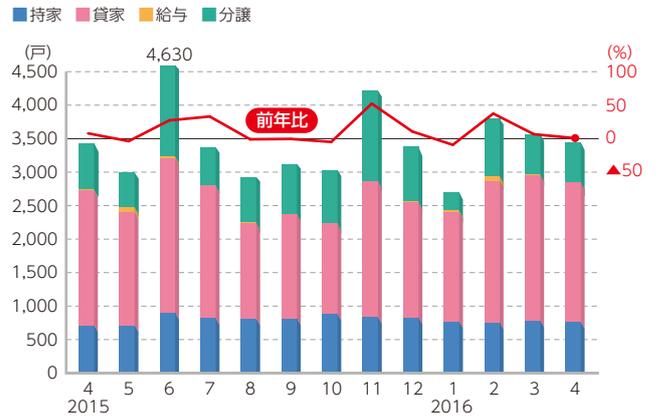
### 3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比0.8%増の3,472戸となりました。

「分譲(マンション)」が前年を下回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を上回り、全体でも3カ月連続で前年を上回りました。

福岡県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



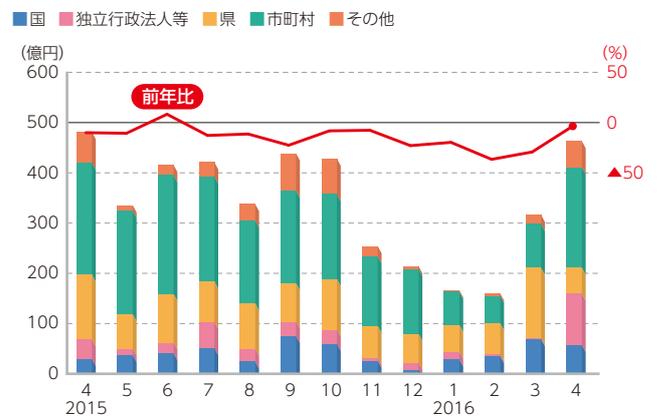
### 4.公共工事 | 10カ月連続で前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.4%減の452件、金額が同3.7%減の467億円となりました。

発注者別では、大学施設新築工事の大型案件があった「独立行政法人等」等が前年を上回りましたが、「県」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回りました。

福岡県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の27件、負債総額は同17.7%増の約35億円となりました。

介護サービス業で13億円の大型倒産が発生したほか、印刷業で約6億円の倒産が発生するなど、負債総額は前年を上回りました。

福岡県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 熊本県の最近の経済動向

### 熊本県の景気 | 熊本地震の影響により弱含んでいる

熊本県の景気は、4月に発生した熊本地震の影響により弱含んでいます。

3月の生産活動は集積回路が増産となった電子部品・デバイスが上昇する等、底堅く推移しており、4月の住宅建設および公共工事についても前年を上回りました。一方で、個人消費は熊本地震による消費マインドの低下や店舗の休業が影響し、全ての品目において前年を大きく下回りました。

(諸限 あきこ)

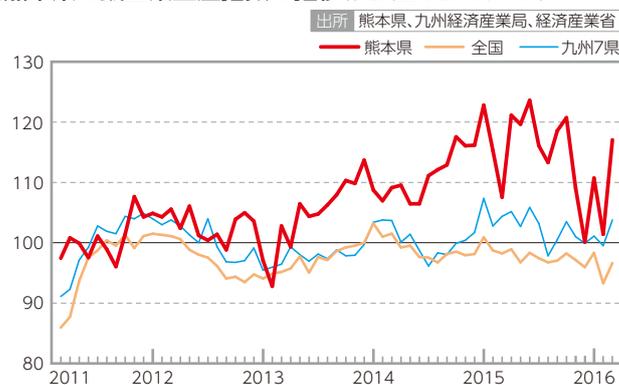
### 1.生産活動 | 底堅く推移しているが、足元では熊本地震の影響により大きく下押しされている

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は117.2と前月比15.6%上昇しました。

主要業種では、集積回路が増産となった電子部品・デバイスや、特殊産業機械の生産が増加したはん用・生産用機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

ただし、4月以降は熊本地震の発生による生産設備の毀損やサプライチェーン障害などの供給面での制約を受け、生産は大きく下押しされています。

■熊本県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

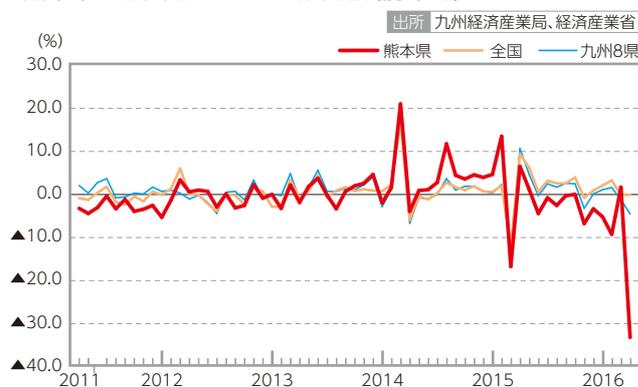


### 2.個人消費 | 大幅に落ち込んでいる

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比で過去最大の下げ幅である33.7%減の81億円となりました。

熊本地震による消費マインドの低下や店舗の休業が影響し、全ての品目において前年を大きく下回る等、個人消費は大幅に落ち込んでいます。

■熊本県の百貨店・スーパー販売額(前年比)



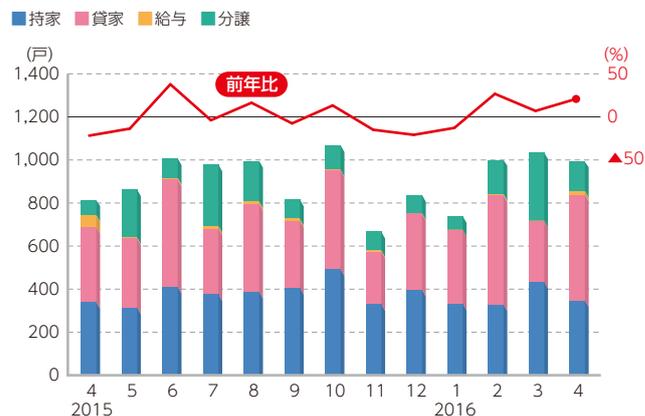
### 3.住宅建設 | 3カ月連続で前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比22.1%増の999戸となりました。

「持家」「貸家」「分譲」が前年を上回り、全体でも3カ月連続で前年を上回りました。

■ 熊本県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



### 4.公共工事 | 2カ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比16.7%増の258件、金額が同44.0%増の151億円となりました。

発注者別では、トンネル設備工事のあった「独立行政法人等」や、環境関連施設建設工事の大型案件があった「市町村」等が前年を上回りました。

■ 熊本県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比40.0%減の3件、負債総額は同86.6%減の約3億円となりました。

建設業で2億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

■ 熊本県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 長崎県の最近の経済動向

### 長崎県の景気 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響により一部に弱さがみられる

長崎県の景気は、底堅く推移していますが、4月に発生した熊本地震の影響により一部に弱さがみられます。交流発電機が増産となった電気機械が上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、住宅建設および公共工事についても前年を上回りました。一方で、個人消費は熊本地震による消費マインドの低下が影響し、全ての品目において前年を下回りました。

(諸隈 あきこ)

### 1. 生産活動 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響が懸念される

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は84.0と前月比14.8%上昇しました。

主要業種では、交流発電機が増産となった電気機械や、タービンの生産が増加したはん用・生産用機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

ただし、4月以降は熊本地震の発生によるサプライチェーン障害などの供給面での制約を受け、生産が弱含んでいる懸念があります。

■長崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

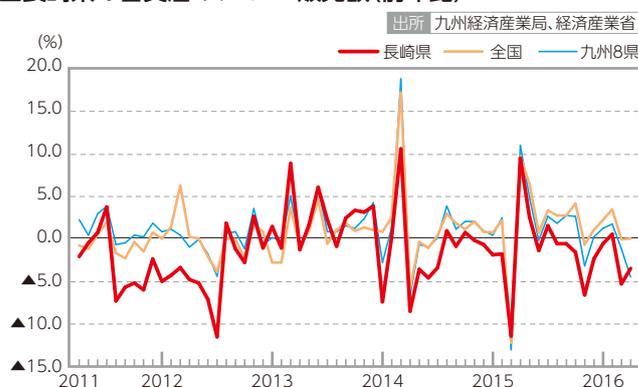


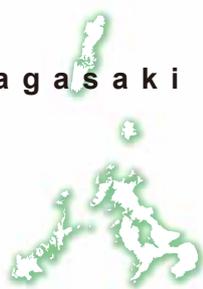
### 2. 個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比3.6%減の84億円となりました。

熊本地震による消費マインドの低下が影響し、全ての品目において前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■長崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





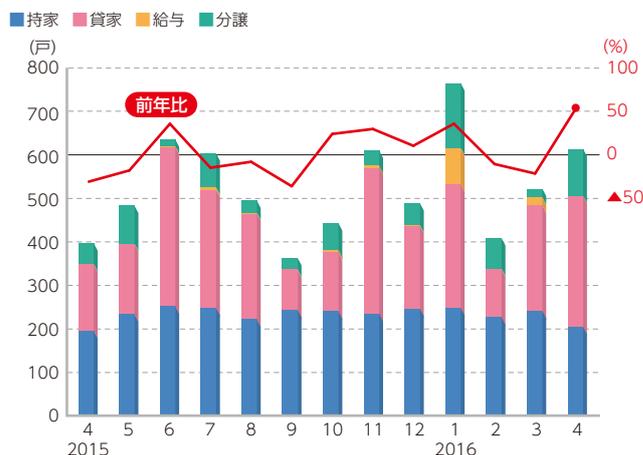
### 3.住宅建設 | 3カ月ぶりに前年を上回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比54.8%増の619戸となりました。

「持家」「貸家」「給与」「分譲」の全てで前年を上回り、全体でも3カ月ぶりに前年を上回りました。

■長崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



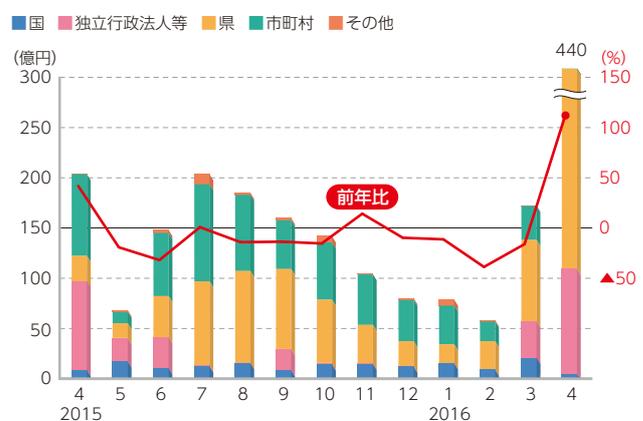
### 4.公共工事 | 5カ月ぶりに前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比93.8%増の217件、金額が同114.2%増の440億円となりました。

発注者別では、県庁舎新築工事の大型案件があった「県」が前年を大きく上回りました。

■長崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



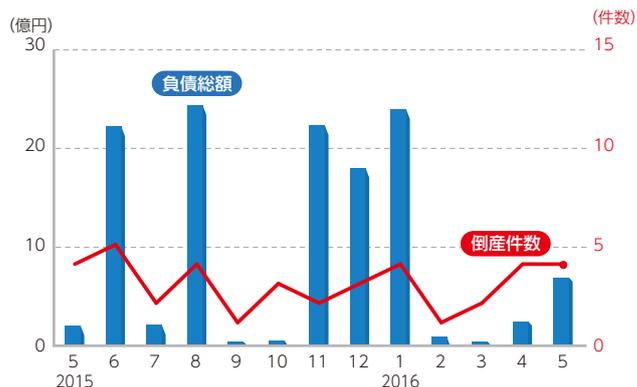
### 5.企業倒産 | 負債総額は前年を上回る

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同数の4件、負債総額は約7億円となりました。

小売業で4億円、卸売業・製造業で約1億円の倒産が発生し、負債総額は前年を上回りました。

■長崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 佐賀県の最近の経済動向

### 佐賀県の景気 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響により一部に弱さがみられる

佐賀県の景気は、底堅く推移していますが、4月に発生した熊本地震の影響により一部に弱さがみられます。土木建設機械が増産となった一般機械が上昇する等、生産活動は底堅く推移しています。一方で、個人消費は、熊本地震による消費マインドの低下が影響し、飲食料品を除いた全ての品目において前年を下回ったほか、住宅建設および公共工事についても2ヵ月ぶりに前年を下回りました。

(諸隈 あきこ)

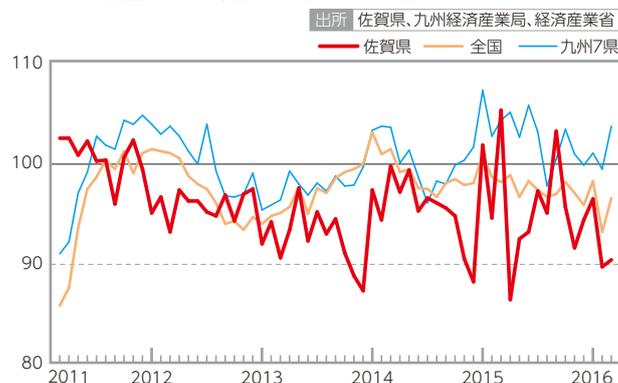
### 1.生産活動 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響が懸念される

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は90.4と前月比0.8%上昇しました。

主要業種では、金属製品等が低下したものの、土木建設機械が増産となった一般機械が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

ただし、4月以降は熊本地震の発生によるサプライチェーン障害などの供給面での制約を受け、生産が弱含んでいる懸念があります。

■佐賀県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

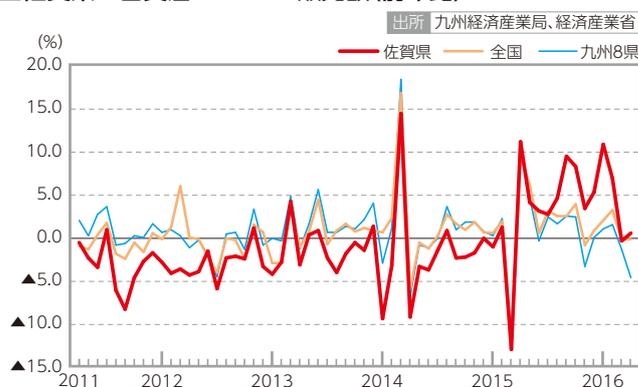


### 2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比0.6%増の50億円となりました。

熊本地震による消費マインドの低下が影響し、飲食料品を除いた全ての品目において前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■佐賀県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





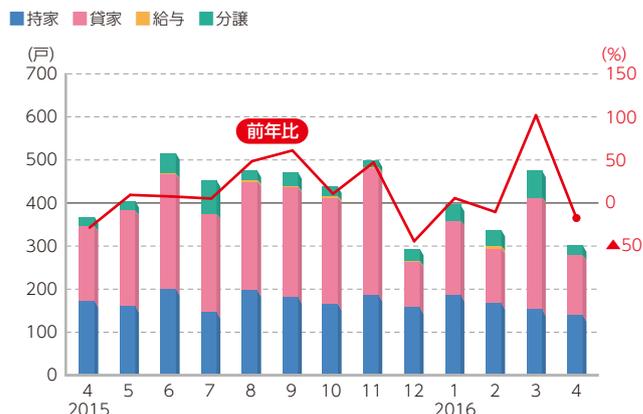
### 3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比18.1%減の304戸となりました。

「分譲(戸建)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」が前年を下回り、全体でも2カ月ぶりに前年を下回りました。

■佐賀県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



### 4.公共工事 | 2カ月ぶりに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比13.8%減の156件、金額が同14.6%減の151億円となりました。

道路工事のあった「国」が前年を上回りましたが、「独立行政法人等」「県」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回りました。

■佐賀県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



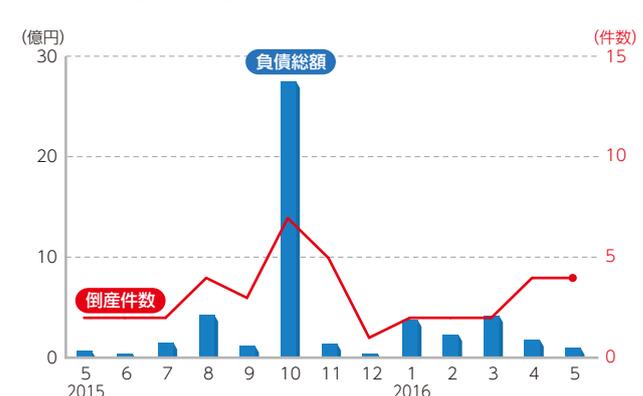
### 5.企業倒産 | 負債総額は低水準に抑制

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比2倍の4件、負債総額は同50.0%増の約1億円となりました。

負債総額は低水準に抑制されています。

■佐賀県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 大分県の最近の経済動向

### 大分県の景気 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響により一部に弱さがみられる

大分県の景気は、底堅く推移していますが、4月に発生した熊本地震の影響により一部に弱さがみられます。化学・石油製品が上昇する等、生産活動は底堅く推移しています。一方で、個人消費は熊本地震による消費マインドの低下が影響し、主力の衣料品が前年を下回ったほか、住宅建設および公共工事についても前年を下回りました。

(諸隈 あきこ)

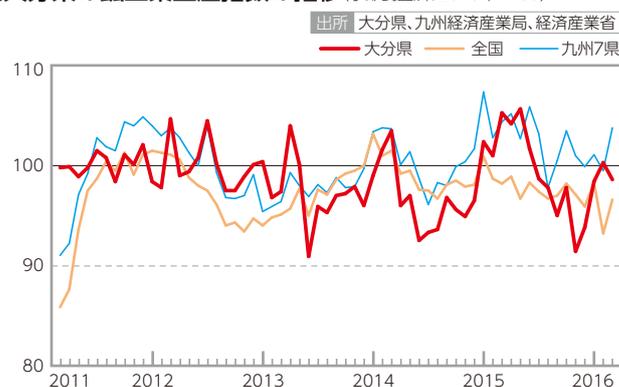
### 1.生産活動 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響が懸念される

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は98.6と前月比1.7%低下しました。

主要業種では、電子部品・デバイスは低下したものの、化学・石油製品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

ただし、4月以降は熊本地震の発生によるサプライチェーン障害などの供給面での制約を受け、生産が弱含んでいる懸念があります。

■大分県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

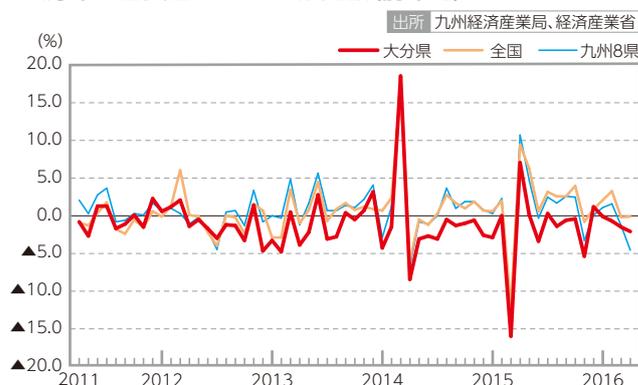


### 2.個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比2.1%減の82億円となりました。

熊本地震による消費マインドの低下が影響し、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■大分県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





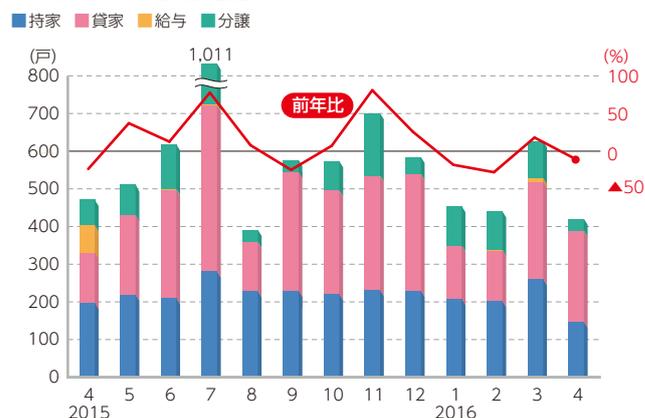
### 3.住宅建設 | 2カ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比10.6%減の428戸となりました。

「貸家」が前年を上回ったものの、「持家」「分譲」が前年を下回り、全体でも2カ月ぶりに前年を下回りました。

■大分県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



### 4.公共工事 | 3カ月ぶりに前年を下回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比16.0%減の204件、金額が同44.4%減の148億円となりました。

発注者別では、大学病院改修工事の大型案件があった「独立行政法人等」が前年を上回りましたが、「国」「県」「市町村」「その他公共的団体」が前年を下回りました。

■大分県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



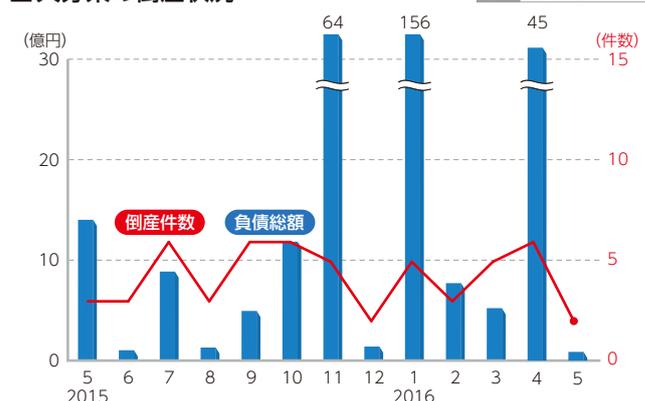
### 5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比33.3%減の2件、負債総額は同93.8%減の約9千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■大分県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 宮崎県の最近の経済動向

### 宮崎県の景気 | 熊本地震の影響もあって弱含みの兆しがみられる

宮崎県の景気は、4月に発生した熊本地震の影響もあって弱含みの兆しがみられます。

食料品が上昇する等、生産活動は底堅く推移しており、公共工事についても4カ月連続で前年を上回りました。一方で、個人消費は熊本地震による消費マインドの低下が影響し、主力の衣料品が前年を下回ったほか、住宅建設についても3カ月ぶりに前年を下回りました。

(諸隈 あきこ)

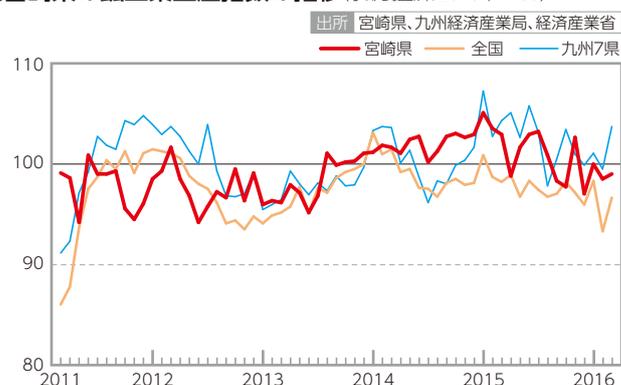
### 1.生産活動 | 底堅く推移しているが熊本地震の影響が懸念される

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は99.0と前月比0.5%上昇しました。

主要業種では、電子部品・デバイスは低下したものの、食料品が上昇する等、生産は底堅く推移しています。

ただし、4月以降は熊本地震の発生によるサプライチェーン障害などの供給面での制約を受け、生産が弱含んでいる懸念があります。

■宮崎県の鉱工業生産指数の推移(季節調整値、2010年=100)

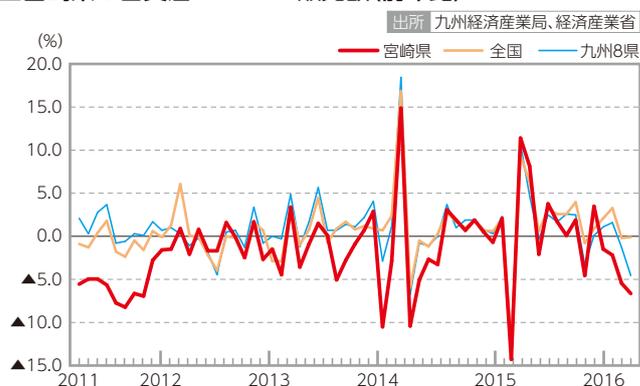


### 2.個人消費 | 弱含んでいる

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比6.7%減の55億円となりました。

熊本地震による消費マインドの低下が影響し、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含んでいます。

■宮崎県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





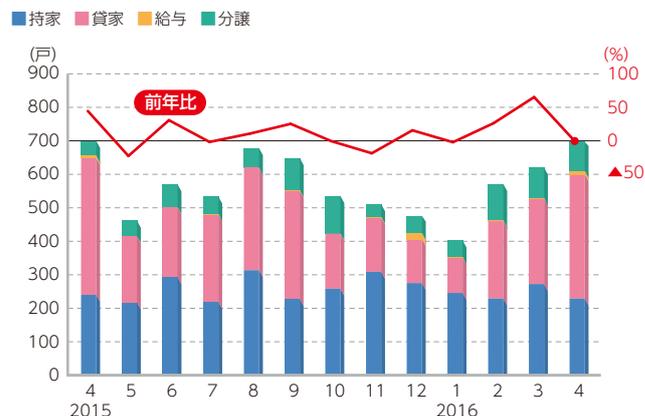
### 3.住宅建設 | 3カ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比0.4%減の708戸となりました。

「分譲(マンション)」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」「分譲(戸建)」が前年を下回り、全体でも3カ月ぶりに前年を下回りました。

■宮崎県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



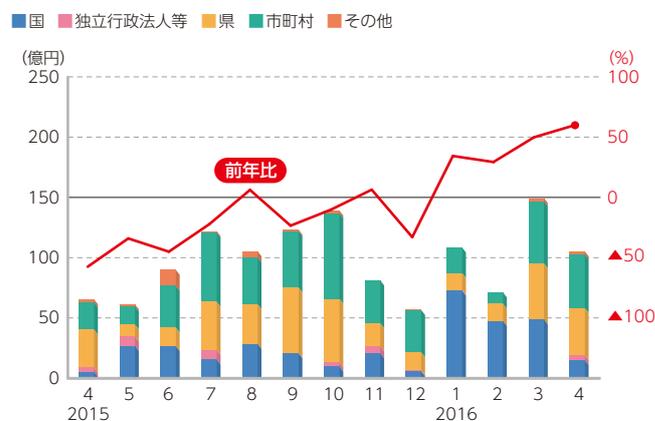
### 4.公共工事 | 4カ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比28.0%増の233件、金額が同61.0%増の107億円となりました。

発注者別では、防波堤築造工事のあった「国」や、市庁舎建設工事のあった「市町村」等が前年を上回りました。

■宮崎県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



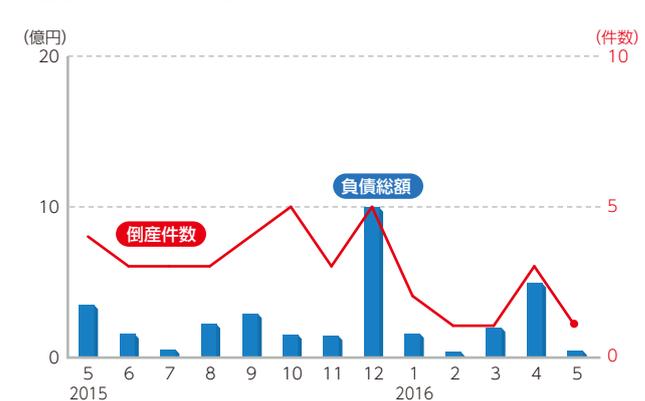
### 5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比75.0%減の1件、負債総額は同86.9%減の約5千万円となりました。

倒産件数、負債総額ともに低水準に抑制されています。

■宮崎県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ



## 鹿児島県の最近の経済動向

### 鹿児島県の景気 | 熊本地震の影響もあって弱含んでいる

鹿児島県の景気は、4月に発生した熊本地震の影響もあって弱含んでいます。

公共工事は3ヵ月連続で前年を上回りましたが、住宅建設は4ヵ月ぶりに前年を下回りました。また、プレス用金型の生産が減少したはん用・生産用機械が低下する等、生産活動は弱含んでおり、個人消費についても熊本地震による消費マインドの低下が影響し、主力の衣料品が前年を下回りました。

(諸隈 あきこ)

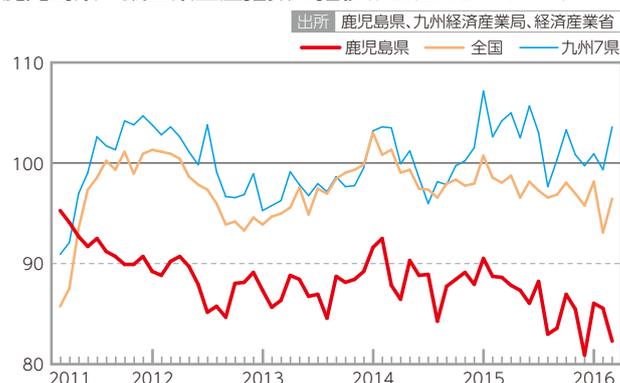
### 1. 生産活動 | 弱含んでいる

3月の鉱工業生産指数(季節調整値)の動きを見ると、総合指数は82.3と前月比3.9%低下しました。

主要業種では、プレス用金型の生産が減少したはん用・生産用機械や、窯業・土石製品が低下する等、生産は弱含んでいます。

また、4月以降は熊本地震の発生によるサプライチェーン障害などの供給面での制約を受け、生産が更に下押しされている懸念があります。

■鹿児島県の鉱工業生産指数の推移(季節調整済、2010年=100)

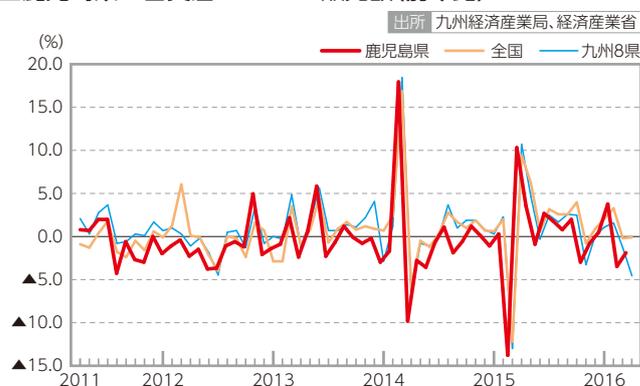


### 2. 個人消費 | 弱含みの兆しがみられる

4月の百貨店・スーパー販売額は、前年同月比1.9%減の120億円となりました。

熊本地震による消費マインドの低下が影響し、主力の衣料品が前年を下回る等、個人消費は弱含みの兆しがみられます。

■鹿児島県の百貨店・スーパー販売額(前年比)





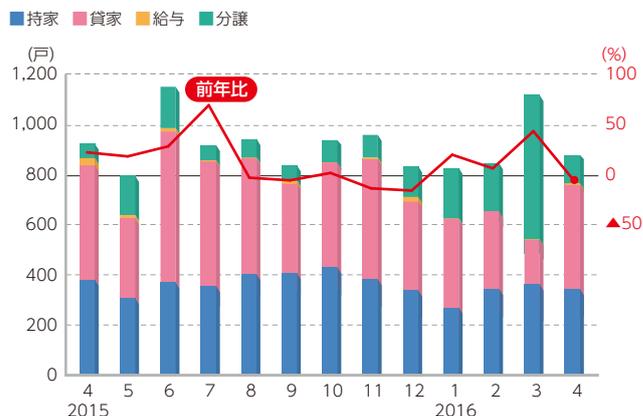
### 3.住宅建設 | 4カ月ぶりに前年を下回る

4月の新設住宅着工戸数は、前年同月比4.7%減の883戸となりました。

「分譲」が前年を上回ったものの、「持家」「貸家」が前年を下回り、全体でも4カ月ぶりに前年を下回りました。

鹿児島県の新設住宅着工戸数

出所 国土交通省



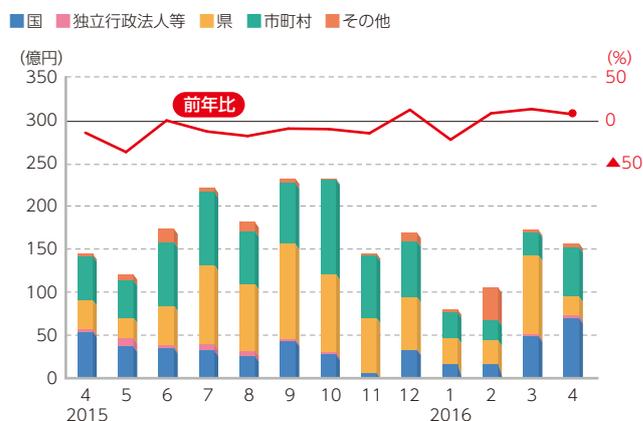
### 4.公共工事 | 3カ月連続で前年を上回る

4月の公共工事保証請負状況は、件数が前年同月比7.7%減の227件、金額が同8.6%増の158億円となりました。

発注者別では、ダム設備工事の大型案件があった「国」や、市庁舎建築工事のあった「市町村」等が前年を上回りました。

鹿児島県の公共工事請負高

出所 西日本建設業保証



### 5.企業倒産 | 倒産件数、負債総額ともに前年を下回る

5月の企業倒産(負債額1,000万円以上)は、件数が前年同月比42.9%減の4件、負債総額は同61.0%減の約3億円となりました。

機械小売業で2億円の倒産が発生しましたが、負債総額は前年を下回りました。

鹿児島県の倒産状況

出所 東京商工リサーチ

